



# JCHO滋賀病院看護師キャリアラダー認定のための教育計画案（別紙）

下記の教育計画案は、そのレベルの到達をめざす人が受ける教育計画です。

レベル	I	II	III	IV	V	
組織的役割遂行能力	レベル毎の定義	JCHO及び滋賀病院の理念と使命を理解し、組織の一員としての自覚を持って行動する	組織の一員としての役割を理解し、所属部署の目標を意識して行動する	所属部署の目標達成に向けて主体的に実践する	自施設の目標達成に向けて主体的に実践する	自施設の目標達成に向けて組織改革に必要な建設的意見を提案でき、具体策を主体的に実践する
	レベル毎の目標	<input type="checkbox"/> 地域社会における滋賀病院の役割・機能を理解する <input type="checkbox"/> 自己の業務管理等、社会人・組織人としてのルールを身につける <input type="checkbox"/> 組織が示す収益向上と費用削減のための具体的な取り組みへ協力をする	<input type="checkbox"/> 地域包括ケアシステムの概要を理解する <input type="checkbox"/> 地域医療及び地域包括ケアのチームの一員として看護職に求められる役割を考え行動につなげる <input type="checkbox"/> 看護チーム内でメンバーシップの役割を遂行する <input type="checkbox"/> 業務管理を自立して行い、組織が示す収益向上と費用削減のための具体策に取り組む	<input type="checkbox"/> 地域医療及び地域包括ケアのチームの一員として、地域の人々の生活上のニーズを把握し、積極的に問題解決に参画する <input type="checkbox"/> 日々の看護業務におけるリーダーとしての役割を遂行する <input type="checkbox"/> 自部署に関連する診療報酬制度等を理解し、組織が示す収益向上と費用削減のための具体策に取り組む	<input type="checkbox"/> 地域住民の多様なニーズを把握し多職種間と統合したケアを主体的に提供する <input type="checkbox"/> 看護チームでのリーダーシップを発揮する <input type="checkbox"/> 保健医療福祉の動向をふまえ、組織が示す収益向上と費用削減のための取り組みの必要性を理解し、主体的に実践する	<input type="checkbox"/> 地域住民の多様なニーズを把握し、地域住民の療養生活を支えるため、関連する施設や多職種間と統合したケアを提供できるようリーダーシップを発揮する <input type="checkbox"/> 専門性を発揮し、看護チームの管理・教育的役割モデルとして行動する <input type="checkbox"/> 保健医療福祉の動向をふまえ、組織の収益向上と費用削減のための建設的意見を提案でき、具体策を主体的に実践する
看護の核となる実践能力	レベル毎の定義	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実施する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適なケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえニーズをとらえる
	レベル毎の目標	指示を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)を統合し、ニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえニーズをとらえる
	レベル毎の目標	指導を得ながら、安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
	レベル毎の目標	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職
	レベル毎の目標	<input type="checkbox"/> 指導を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる <input type="checkbox"/> 指導を受けながらチームの一員としての役割を理解できる <input type="checkbox"/> 指導を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向や考え、希望を意図的に確認することができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれ積極的に情報交換ができる <input type="checkbox"/> 関係者と密にコミュニケーションを取ることができる <input type="checkbox"/> 看護の展開に必要な関係者を特定できる <input type="checkbox"/> 看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手とケアについて意見交換できる <input type="checkbox"/> 積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手がおかれている状況(場)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる <input type="checkbox"/> 多職種間の連携が機能するように調整できる <input type="checkbox"/> 多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	<input type="checkbox"/> 複雑な状況(場)の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる <input type="checkbox"/> 多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる <input type="checkbox"/> 関係者・多職種間の中心的役割を担うことができる <input type="checkbox"/> 目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる
	レベル毎の目標	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる
	レベル毎の目標	<input type="checkbox"/> 指導を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる <input type="checkbox"/> 確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる <input type="checkbox"/> 確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる	<input type="checkbox"/> 適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる <input type="checkbox"/> 法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる
	レベル毎の定義	自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる	自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる	自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や看護学生に対する指導的な役割を実践することができる	自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に研究的に取り組み、後輩のロールモデルとなることができる	単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる。主となり研究活動を実践できる。看護単位における教育的役割がとれる
	レベル毎の目標					